

1. 会社の現況に関する事項

(1) 事業の経過及び成果

<企業業績>

当期におけるわが国経済は、設備投資の下げ止まりや個人消費の持ち直しといった動きはみられたものの、厳しい雇用情勢や急激な円高等不安定な状況で推移しました。また、年度末に発生した東日本大震災により先行きは不透明な状況にあります。

建設業においては、政権交代による公共投資の縮減が継続し、また民間企業の収益改善や住宅関連での回復はあるものの設備投資に急速な回復は見られず、受注環境は厳しくなってきました。

このような環境下において当社は、従業員一人ひとりが事業環境の変化を意識し、官庁部門においては技術提案力及び積算精度の向上、民間部門においては価格競争力の向上及び新規顧客の開拓を図り、受注高の確保に努めるとともに購買力の強化、固定費の削減により利益の確保に注力しました結果、業績は以下の通りとなりました。

先ず受注高は、建設部門542億円に開発部門9千万円を加えた543億円であり、前期に比べて26.0%の減少となりました。建設部門受注高の工事別割合は、土木工事45.6%、建築工事54.4%、発注者別割合は、官公庁41.1%、民間58.9%となりました。

次に売上高は、完成工事高753億円に開発部門売上高9千万円を加えた754億円となり、前期に比べて10.9%の減少となりました。完成工事高の工事別割合は、土木工事44.6%、建築工事55.4%、発注者別割合は、官公庁46.8%、民間53.2%となりました。

利益につきましては、売上高減少の状況下において、原価・経費削減を図り営業利益9億円と前期に比べ11.2%の増加となりましたが、為替の影響による営業外費用の増加により経常利益は6億円と前期に比べて14.9%の減少、当期純利益は6億円と前期に比べて21.0%の減少となりました。

(注) 本文中の記載金額は、表示金額未満を切り捨てて表示しています。

<当期における受注高、売上高及び繰越高>

(単位：百万円)

区 分		前期繰越高	当期受注高	当期売上高	次期繰越高
建設部門	土 木	41,514	24,764	33,629	32,648
	建 築	45,162	29,507	41,728	32,940
	計	86,676	54,271	75,358	65,589
開発部門		—	99	99	—
合 計		86,676	54,370	75,457	65,589

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

(2) 対処すべき課題

建設業を取り巻く事業環境は、引き続き厳しい状況が継続するとともに3月に発生した東日本大震災により不透明さが増すことが予想されますが、当社は従来から取り組んでいる価格競争力の強化、技術提案力・積算精度の向上を目指すとともに、市場環境の変化を見極め経営資源の選択と集中により安定的な受注量と利益を確保して永続的に発展する経営基盤の確立が急務です。

社員一人ひとりが危機感を持ち、チェンジ・チャレンジ精神で自らが主体的に行動して事業環境の変化に対応できるよう意識改革を推進し、「確かなものづくり」とコンプライアンスの徹底により、顧客満足を高めこの難局を乗り越えてまいる所存です。

(3) 直前3事業年度の財産及び損益の状況の推移

区 分	第65期	第66期	第67期	第68期 (当期)
受注高 (百万円)	65,865	76,348	73,509	54,370
売上高 (百万円)	83,969	67,845	84,683	75,457
経常利益 (百万円)	1,141	468	790	672
当期純利益 (百万円)	1,093	550	864	682
1株当たり 当期純利益 (円)	27円34銭	13円76銭	21円61銭	17円07銭
総資産 (百万円)	74,770	66,477	56,902	52,192
純資産 (百万円)	11,440	11,849	12,636	13,282

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

(注) 2. 1株当たり当期純利益は切り捨て前の当期純利益を期中平均発行済株式数で除して算出しています。(銭未満四捨五入)

(4) 主要な事業内容

当社は、建設業法に基づく特定建設業者として国土交通大臣許可(特-19)第1700号の許可を受け、土木工事業、建築工事業並びにこれらに関連する事業を行なっています。

また、宅地建物取引業者として国土交通大臣免許(12)第802号の免許を受け、不動産取引及び住宅地等の開発事業を行なっています。

(5) 主要な借入先 (平成23年3月31日現在)

該当事項はありません。

(6) 重要な親会社及び子会社の状況

当社は平成15年3月に株式会社NIPPONの連結子会社となり、同社から工事の発注を受けるほか、当社の施工する工事の一部を同社及び同社のグループ会社に発注しています。

同社の子会社になったことに伴いJXホールディングス株式会社の連結子会社になっています。

また、当社の経営に重要な影響を及ぼす子会社はありません。

(7) 主要な事業所及び従業員の状況 (平成23年3月31日現在)

(イ) 主要な事業所

本 店	岐阜市宇佐南1丁目6番8号
東京本社	東京都新宿区西新宿6丁目16番6号
支 店	東北支店(仙台市)、千葉支店、東京支店 横浜支店、名古屋支店、北陸支店(新潟市)、 大阪支店、中国支店(広島市)、四国支店(高松市)、 九州支店(福岡市)、海外支店(東京都豊島区)
営 業 所	国内 青森営業所ほか10ヶ所 海外 カイロ営業所(エジプト)ほか4ヶ所

(ロ) 従業員の状況

従業員数	前期末増減	平均年齢	平均勤続年数
661人	13人減	46.3歳	22.3年

(注) 1. 従業員数は就業人員で表示しています。

2. 会社の株式に関する事項

- (1) 発行可能株式の総数 160,000,000 株
- (2) 発行済株式の総数 40,000,000 株
- (3) 株主数 4 名
- (4) 大株主

株 主 名	持株数 (株)	議決権比率 (%)
株式会社NIPPPO	31,800,000	79.5
近畿日本鉄道株式会社	5,600,000	14.0
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,000,000	5.0
株式会社十六銀行	600,000	1.5

(注) 1. 当社は近畿日本鉄道株式会社の株式 2,131,697株を保有しています。

3. 会社役員に関する事項 (平成23年3月31日現在)

会社における地位	氏 名	担当又は他の法人等の代表状況
代表取締役社長	加藤 祥 俱	
代表取締役	松 本 哲	建築本部長、環境安全担当
取締役	森 川 英 憲	土木本部長、ISO担当
取締役	山 田 洋	管理本部長
取締役	西 條 勝 彦	海外支店長
取締役	堀 畑 裕 一	近鉄関連営業担当
取締役 (非常勤)	橋 本 祐 司	株式会社NIPPPO企画部長
監査役	目加田 忠 則	
監査役 (非常勤)	傍 田 明 夫	株式会社NIPPPO執行役員経理部長

(注) 1. 取締役 堀畑裕一 監査役 目加田忠則は、平成22年6月24日開催の定時株主総会において新たに選任され就任しました。

2. 取締役 西井克之氏 監査役 三谷一夫氏は、平成22年6月24日退任しました。

4. 会計監査人の状況

会計監査人の名称 新日本有限責任監査法人

5. 内部統制

会社法第362条第4項第6号に規定する体制の整備について以下の通り決議しています。

- (1) 取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制
 - ① 取締役は、法令、定款、当社の企業行動規範、役員内規（服務）に従い業務執行にあたるとともに、必要に応じ外部の専門家を起用し法令定款違反行為を未然に防止する。
取締役が他の取締役の法令等違反行為を発見した場合は、直ちに取締役会及び監査役に報告するなどガバナンス体制を強化する。
 - ② コンプライアンス委員会は、当社のコンプライアンス活動をCSR委員会に報告し、社長はその諮問に基づき、法令遵守の徹底を図る。
- (2) 取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制
取締役の職務執行に係わる文書（電磁的記録を含む。）の取扱いは、文書管理に関する社内規程を整備し、作成、保管、廃棄等の取り扱いを明確にする。
- (3) 損失の危険の管理に関する規程その他の体制
経営に重大な影響を及ぼすおそれのある損失の危険をトータルかつ適切に認識・評価するため、リスク管理に関する規程を設け、事業リスクその他の個々のリスクに対する基本的な管理システムを整備する。また、その運営により、重大リスクの未然防止、再発防止、迅速な対応に資するとともに、法令改正等、事業環境の急激な変化への対応を図る。
- (4) 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制
 - ① 取締役会は、経営の執行方針、法令の定められた事項、その他経営に関する重要事項を決定し、業務執行状況を監督する。取締役会は月1回開催するほか、必要に応じて適宜臨時に開催するものとする。
 - ② 取締役によって構成される経営会議を設置し、業務執行に関する個別経営課題を協議する。
- (5) 使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制
 - ① CSR委員会は、内部統制システムの構築・維持・向上を推進するとともに、その下部組織であるコンプライアンス委員会（本社・統括支店に設置）において、コンプライアンス体制の維持を図ることとする。
 - ② コンプライアンス委員会は、定期的に遵法状況点検を実施し、日常的な職務が法令および定款に適合していることを確認する。
 - ③ 使用人に対して必要な研修を定期的実施する。また、関連する法規の制定・改正、当社で重大な不祥事、事故が発生した場合等において速やかに必要な研修を実施する。
 - ④ 公益通報者取扱規程により、内部通報制度の整備徹底を図る。
- (6) 当会社並びにその親会社及び子会社からなる企業集団における業務の適性を確保するための体制
 - ① NIPPPOグループCSR委員会の活動を通じて、企業集団としてのコンプライアンス体制の統一を保つ。
 - ② 子会社において内部統制責任者を選任し、当社所管部と連携の上、事業の総括的な管理を行う。
- (7) 監査役の職務を補助すべき使用人に関する体制と当該使用人の取締役からの独立性に関する事項
 - ① 監査役は、その職務を補助すべき使用人を置くことを求めることができる。
 - ② 監査役は、補助者の懲戒処分及び人事異動に意見を述べるることができる。
- (8) 取締役及び使用人が監査役に報告するための体制その他の監査役への報告に関する体制、並びに監査役が実効的に行われることを確保するための体制
 - ① 経営会議協議事項およびその他経営上重要な事項は、監査役に報告すべき事項とする。
 - ② 監査役は、社長、監査法人との意見交換会を適宜開催する。

第 6 8 期 貸 借 対 照 表

(平成 2 3 年 3 月 3 1 日現在)

資 産 の 部		負 債 の 部	
	百万円		百万円
流動資産	49,173	流動負債	32,274
現金預金	11,472	支払手形	3,596
受取手形	1,759	工事未払金	19,183
完成工事未収入金	22,240	未払法人税等	109
開発用不動産	98	未成工事受入金	6,868
未成工事支出金	9,374	完成工事補償引当金	95
未収入金	3,947	工事損失引当金	1,170
その他	509	その他	1,249
貸倒引当金	△ 228		
固定資産	3,018	固定負債	6,635
有形固定資産	518	繰延税金負債	161
建物・構築物	134	退職給付引当金	6,279
機械・運搬具	17	資産除去債務	7
工具器具・備品	9	その他	187
土地	349		
リース資産	7		
無形固定資産	20	負 債 計	38,909
		純 資 産 の 部	
投資その他の資産	2,479	株主資本	13,043
投資有価証券	2,233	資本金	2,000
関係会社株式	10	資本剰余金	4,322
破産債権、更生債権等	266	資本準備金	4,322
長期未収入金	967	利益剰余金	6,720
その他	303	その他利益剰余金	6,720
貸倒引当金	△ 1,302	繰越利益剰余金	6,720
		評価・換算差額等	238
		その他有価証券評価差額金	238
		純 資 産 計	13,282
資 産 合 計	52,192	負債・純資産 合 計	52,192

第 6 8 期 損 益 計 算 書

(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

	百万円	百万円
売上高		
完成工事高	75,358	
開発部門売上高	99	75,457
売上原価		
完成工事原価	71,551	
開発部門売上原価	101	71,652
売上総利益		
完成工事売上総利益	3,807	
開発部門売上総損失	2	3,804
販売費及び一般管理費		2,830
営業利益		974
営業外収益		
受取利息・配当金	83	
その他	27	111
営業外費用		
支払利息	1	
デリバティブ評価損	110	
為替差損	274	
その他	26	413
経常利益		672
特別利益		
固定資産売却益	3	
会員権償還益	46	
関連会社株式売却益	72	122
特別損失		
前期損益修正損	8	
会員権評価損	5	
工事契約解除損失	14	
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	9	
その他	7	45
税引前当期純利益		750
法人税、住民税及び事業税		67
当期純利益		682

株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	株主資本				評価・換算差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金 資本準備金	利益剰余金	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	
			その他利益剰余金 繰越利益剰余金			
前期末残高	2,000	4,322	6,138	12,460	175	12,636
当期変動額						
剰余金の配当			△ 100	△ 100		△ 100
当期純利益			682	682		682
株主資本以外の項目の当期変動額					62	62
当期変動額合計			582	582	62	645
当期末残高	2,000	4,322	6,720	13,043	238	13,282